



# フリーランスで働く人たちに対する 連合の取り組み

連合総研シンポジウム「フリーランスの権利保護と労働組合」

2026年1月27日(火)

連合フェアワーク推進局長 小林 妙

はたらくのそばで  
ともに歩む



# 1. フリーランスに対する連合の取り組み

連合は結成30周年となる2019年に策定した「連合ビジョン」で示した考え方をそって運動を進めています。連合ビジョンで示した「働くこと」に軸を置き、働く仲間一人ひとりの尊厳と暮らしを「まもり」、働く仲間・地域社会を「つなぎ」、社会・経済の新たな活力を「創り出す」ために、すべての働く仲間・生活者の身近な存在として日々活動しています。

フリーランスなど働き方が多様化する昨今、フリーランスで働く就業者を「まもる・つなぐ・創り出す」ため、法整備と運動の強化に取り組んでいます。

## 労働法制で 「まもる」

- 労働者概念の拡張も含めた法的保護の実現
- ・労働関係法令の適用、「労働者」の見直し・拡充、個別法整備

## 新たな仕組みで 「つなぐ」

- 緩やかにつながるWebサイト「Wor-Q」と「連合ネットワーク会員」新設
- ・連合の強み(相談データベース等)を最大活用するWebサイト
- ・連合ネットワーク会員だけが利用できるメニューの展開

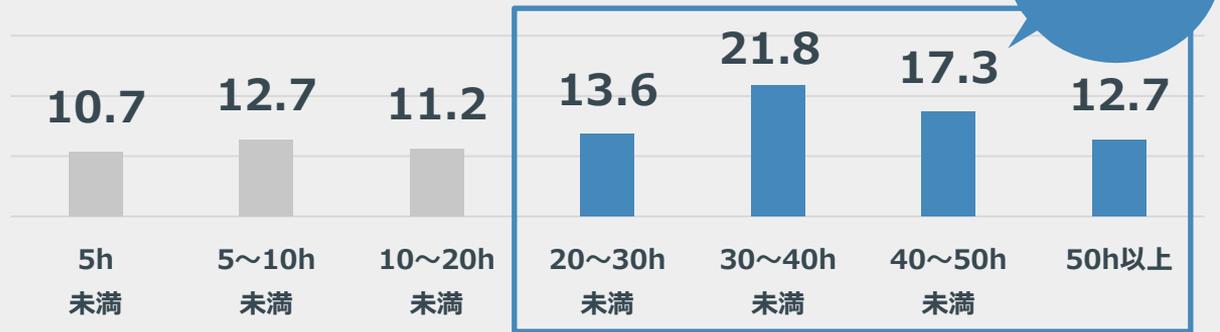
## 新たな仲間と 「創り出す」

- 集団的な労使関係に基づく組織化に向けた関係構築
- ・新たな仲間と共に、社会に広がりある新たな運動を創り出す
- ・法的保護とネット上のつながりの深化を土台とした組織化を模索

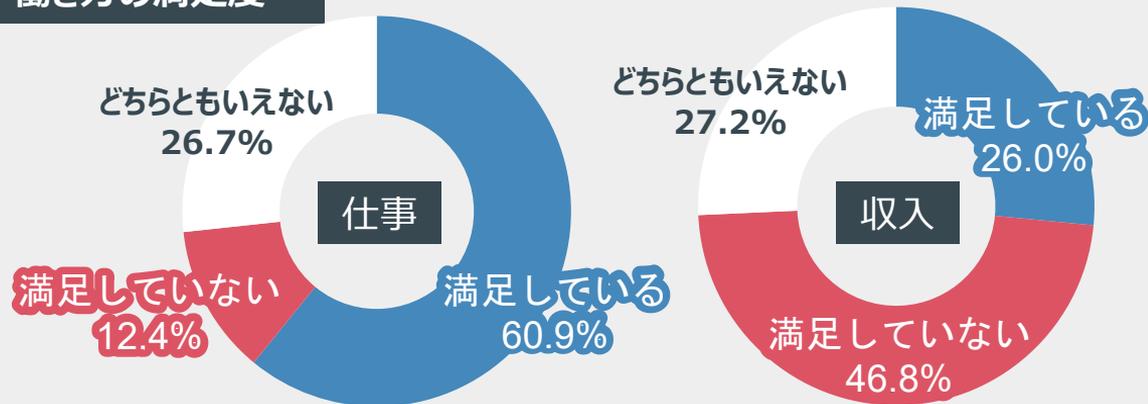
## 2. フリーランスの意識・実態調査（2025年）

## 回答者の属性

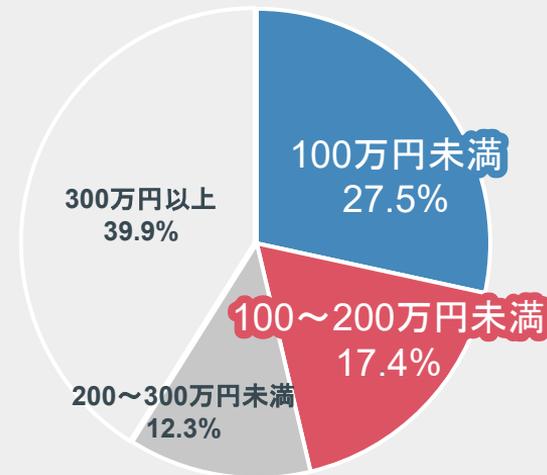
### 1. フリーランスとして働いている時間（週あたり）



### 2. 働き方の満足度



### 3. フリーランスとして得ている年収



・調査時期：2025年6月  
・調査対象：全国の20歳以上のフリーランス（本業）  
・有効回答数：1,000

## 2. フリーランスの意識・実態調査（2025年）

### 仕事の実態・意識

#### 1. 近年の物価上昇による生活への影響

生活が苦しくなった

45.7%

#### 2. フリーランス法施行後も報酬が上がらない

2024年12月以前と比較して、報酬が引き上げられていない

89.8%

#### 3. フリーランス法施行後も改善されない取引実態

取引条件が口約束のみと問題があったが、いまだに改善されていない

63.3%

・調査時期：2025年6月  
・調査対象：全国の20歳以上のフリーランス（本業）  
・有効回答数：1,000

#### 4. 発注者が一方的に報酬額を決定

交渉を申出ていたにもかかわらず、報酬額の交渉に応じてもらえなかった（期間1ヶ月以上の業務委託）

60.0%

#### 5. 業務に必要な器具などの価格上昇分が反映されない

価格上昇分（コスト）が考慮されておらず、いまだ改善がされていない（期間1ヶ月以上の業務委託）

72.3%

#### 6. 労災保険の特別加入制度の認知率

フリーランスが加入できる労災保険の特別加入制度を知っている

27.8%

### 3. 連合の考えるフリーランスの構図

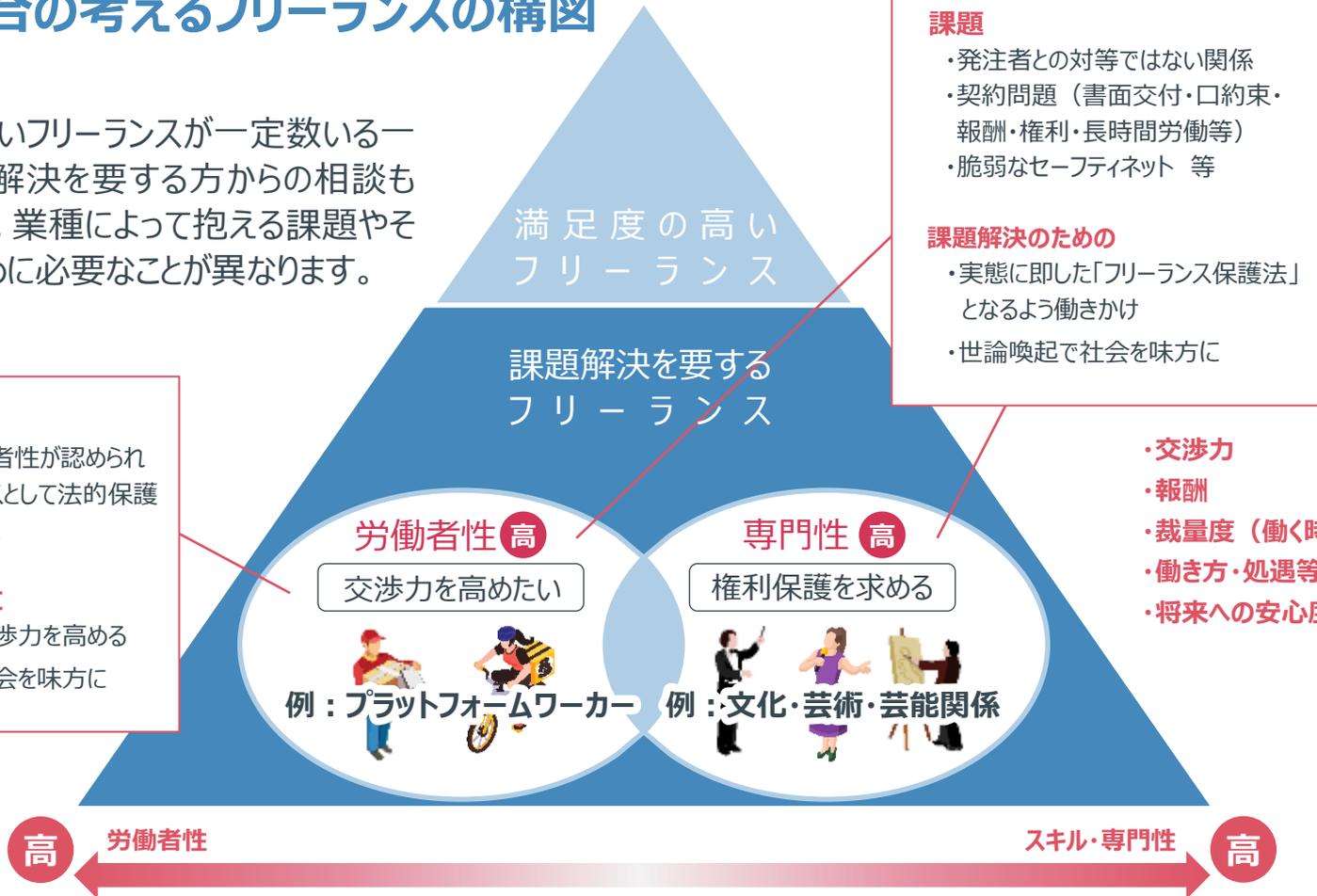
満足度の高いフリーランスが一定数いる一方で、課題解決を要する方からの相談も多くあります。業種によって抱える課題やその解決のために必要なことが異なります。

**課題**

- ・実態として労働者性が認められるのにフリーランスとして法的保護から漏れるケース

**課題解決のために**

- ・労組結成で交渉力を高める
- ・世論喚起で社会を味方に



**課題**

- ・発注者との対等ではない関係
- ・契約問題（書面交付・口約束・報酬・権利・長時間労働等）
- ・脆弱なセーフティネット 等

**課題解決のための**

- ・実態に即した「フリーランス保護法」となるよう働きかけ
- ・世論喚起で社会を味方に

- ・交渉力
- ・報酬
- ・裁量度（働く時間・場所等）
- ・働き方・処遇等への満足度
- ・将来への安心度

# 4. フリーランスで働く人たちを「つなぐ」<sup>ワーク</sup>Wor-Q の取り組み



## フリーランス向けの情報発信

### ▶Wor-Q サイトの運営

- フリーランス向けの情報の発信
- 労働相談事例・用語集など

### ▶連合ネットワーク会員

- メルマガの配信
- 緩やかにつながる場



## 万が一に備えたい

### ▶Wor-Q共済

- 個人ではなく、団体扱いでフリーランスだけが加入できる共済
- 団体なので掛け金がお手頃



## 当事者からの意見・助言

### ▶アドバイザーボード

- フリーランスの課題解決に向けて、連合の運動に対する助言・意見を行う
- イラストレーター向けの「契約書のひな形」を作成。普及促進や他業種への汎用を検討中

<2024-2025メンバー>

#### 【業界関係者】

小池 アミイゴ：東京イラストレーターズ・ソサィティ 元理事長  
 菅山 りんだ 明美：㈱ハッピーエンジン 代表取締役  
 植田 益朗：NAFCA代表  
 池水 通洋：日本俳優連合 専務理事  
 土屋 学：日本音楽家ユニオン 代表運営委員

#### 【学術研究・弁護士】

呉 学殊：労働政策研究・研修機構統括研究員  
 菅 俊治：弁護士（日本労働弁護団所属）  
 中里 浩：東京経済大学 現代法学部教授



## 課題解決・情報共有

### ▶フリーランスサミットの開催

- 「フリーランス月間(2022年4月)」が始まり。フリーランスの状況や課題を可視化させ、課題解決の必要性・重要性を世の中に訴えた。
- フリーランスの課題を共有し、解決に向けた取り組みを考える
- フリーランスの交流の場の提供



## 5. フリーランスで働く人たちを「まもる」取り組み

2024年11月、フリーランスに対するセーフティネット拡充の観点から、労災保険の特別加入制度が全業種向けに拡大。新たに労災保険特別加入の対象となるフリーランスの人たちの受け皿として、2024年8月に特別加入団体・連合フリーランス労災保険センターを設立し、2024年11月から運用を開始しました。現在、加入者数2,000名超となりました。

ついに“全業種”に加入対象が拡大！  
フリーランスのための労災保険の特別加入

**フリホケ**  
フリーランスのための  
安心労災保険

フリーランスで働く人たちのための労災保険の特別加入制度です。  
これまでフリーランスは限られた業種のみ加入対象でしたが、ついに全業種対象になりました。  
2024年11月1日から、日本労働組合総連合会（連合）が設立した「連合フリーランス労災保険センター」を通じて労災保険への特別加入の手続きができます。

ここがポイント！労災保険

- 01 保険料がお手頃**  
年間保険料3,831円から加入できる
- 02 信頼性**  
国の制度であるため、安心
- 03 加入のしやすさ**  
持病があっても加入できる
- 04 充実した補償内容**  
仕事中や通勤中のケガや病気、死亡等を幅広くカバー
- 05 長期的な補償**  
給付期間の制限がなく、ケガや病気が治癒（症状固定）するまで補償が継続

### <連合フリーランス労災保険センターの役割>

フリーランスの労災保険特別加入の事務手続き（特別加入・脱退等の申請、災害発生時の労災給付請求等）や問い合わせ・相談対応

加入者に対する、労働安全衛生・災害防止のための教育の実施など

労災保険特別加入制度 P R 活動、加入促進活動など

WEBサイト：<https://jtuc-freelance-rousai.org/>